

第6章 プランの推進に向けて

1 県民パワーの結集

社会の成熟化、価値観の多様化等により、行政への県民ニーズは多様化・高度化し、きめ細かな対応が求められています。また、一方で財政を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中で、行政だけで多様化・高度化する全てのニーズに応え、『プラン』を実現することには限界があります。このため、「秋田の夢をかたちにしたい」という思いを抱いている県民、NPO、市町村、企業、ボランティアなど、多様な主体との連携・協働により、この『プラン』を推進していきます。

2 県と市町村の役割分担と協働

市町村合併により県内の市町村の規模が拡大し、行財政基盤の強化が進む中、地域独自の創意工夫による地域づくりや多様化した住民ニーズへの対応など、住民に最も身近な自治体である市町村の役割はますます重要になっています。

そのため、多様化する住民ニーズに的確に対応し、行政サービスを提供する主体は住民に最も身近な市町村であることを基本に、県と市町村の適切な役割分担のもと、この『プラン』を推進していきます。

3 行財政改革 ～将来に希望を持てる秋田の実現に向けて～

本県では、行財政改革を県政の重点課題と位置づけ、平成11年に策定した「行政改革大綱」から4期にわたる行財政改革に取り組み、大きな成果を上げてきました。

しかし、ややもするとコスト削減や効率性の追求が強調されがちであったことから、これまで進めてきたコスト削減等に加え、将来に希望を持てるふるさと秋田の実現に向けた行政サービスの維持・向上を目指し、「新行財政改革大綱」に盛り込まれた4つのテーマで改革を着実に推進し、『プラン』の実効性の確保を図ります。

テーマ1：市町村・民間との協働や連携

県と市町村が機能的に合体して処理する仕組みをつくるとともに、企業やNPOなど、多様な主体との協働を促進します。

テーマ2：職員の意識改革とサービス向上

職員が常に自らを律し、県民に奉仕する姿勢で臨むよう、一人ひとりの意識改革に取り組むとともに、申請・届出等の行政手続の簡素化など、県民の利便性を高めます。

テーマ3：県組織の見直しによる業務執行体制の整備
行政改革と行政サービスの維持の両面から県組織全体を見直します。

テーマ4 選択と集中による財政運営の推進
事業の選択と集中の徹底を図るという視点で既存事業を見直した上で、「ふるさと秋田元
気創造プラン」等の重点施策には必要な人員配置や予算配分を行うなど、メリハリの効いた
財政運営を推進します。

4 政策評価システム等による進行管理

この『プラン』を効果的に実施していくためには、これまでの政策評価手法を踏襲しつ
つ、次のような視点から進行管理を行っていきます。

(1) 総合的な評価の実施

『プラン』の評価に当たっては、社会経済環境の変化に的確に対応するよう取組を進
めることとし、各戦略に掲げた目標の達成状況や、県の事業の進捗状況、政策に関連す
る調査や県民意見を参考にした多角的な分析に基づき、総合的な評価を進めます。

(2) マネジメント・サイクルによる評価の反映

『プラン』の評価に当たっては、「企画・立案（PLAN）- 実施・展開（DO） -
点検・評価（CHECK）- 改善（ACTION）」のマネジメント・サイクルを効果
的に回し、評価結果に基づいて取組の見直しを行い、翌年度以降の実施に反映してい
くことができるよう、県庁内の調整プロセスを明確にしていきます。

(3) 県民の意向の反映

政策のマネジメント・サイクルの運用に当たっても、県民との協働・連携を進めてい
く必要があります。このため、政策の評価や評価に基づく見直し内容などを公表し、そ
れを県民の検証に委ね、そこで得られる県民ニーズや意見を的確に政策の推進に反映し
ていきます。